

刊 夕		日六十月九年	
印刷編輯 刷行人人	發行所 電話	料廣定本 金合價銀	特替費
水松十 越 河	營業局專用 (X)三〇	別通	前 五 段 拾
內本 榮	新東京日日新聞社	行行	ヶ月月 拾五拾五
之介男	三〇五〇	瓜園 四五拾	五拾

十五日の東郷、モロトフ會見で

共同コンとユニケ発表

【東京路透電】停戦協定に関する両國の共同コミュニケが、午後一時外務省情報部より左の如く發表された。

最近日本大使東郷、外務人民委員ソコフニ間に行はれたる交渉の結果及び日滿關係及び予議關於此記合意に到達せるに至りし事

一、日滿軍及びソ聯軍は九月十六日午前一時(モスクワ時間)を以て實際の軍事行動を停止す。

二、日滿軍及びソ聯軍は九月十五日夜一時(モスクワ時間)より此の占める地域に留かりし兵數及びモロトフ問交渉にかゝる兵數及びモロトフ問交渉三、現地に在る双方代表者はいづれにも本合意へ及ぶ二の實行に着手す。

四、雙方の捕虜及び死傷者は交換せらるべき右の如き現地に於ける双方代表者は直ちに互に相互に協定を實行するべし。

【東京路透電】停戦協定成立に關し外務省では午後一時左記情勢報告を發表した。

帝國政府は今日努力中の諸般解決のため努力中との語

この日ソ兩國政府は通商議員の交換は各方面における停戦協定の締結後開始されるものと認めてゐる。正當な權利に資するものとして國際法上正當に認められたる朝鮮半島の大連とロトフ外務人民委員との交渉の結果八月五日の成立を見るに至つた次第でその事務的交渉手續は順調に

外務省情報部長談

地方之華僑國民長和國及び滿洲

本々其の新報を讀み手解し得べし

獨軍發表
【ベルリン十五日發國通】
イッ軍司令部は十五日午前、十四日中の戦況を左の如く發表した
△東部戦線

一、南翼部隊は十四日レン
ベルグ(ルグオグ)、ル
ブリンを結ぶ道路を遮断
した

獨潛水艦擊沈

艦をばしばは襲撃、その若干隻を沈没し、乗組員を可能な限り救助せしむ。

「ロンドン十五日發通函」英國國報有るは十五日長海軍のドイツ潜水艦に關して云ふ如く發表した。

飛行機運送船などよりなる英海軍警備隊はドイツ潜水艦を危険に晒されるに至つた。同で開港中の中の外外國の船舶と遭遇する引換へては、大體を避けて別々のところにとづつたが、ドイツ潜水艦に到望す。

周、ヴァレンテ、伊大利、使節十四日大使館より同地からルーマニアのツナウチに到着す。

「ブエノスアイレス」北部一マニエラ十五日發通函ドイツ軍政府の進軍に對しドイツ假首都クルズニエニツも

レスタリダグス、東部の地方地帯に侵入し、要路の交通線に破壞した。

「ニューヨーク」北緯十度、西經七十度の間にあり、完全なドイツ軍の手中に陥つた。

獨潜水艦擊沈

艦をばしばは襲撃、その若干隻を沈没し、乗組員を可能な限り救助せしむ。

日佛關係を調整

三外交政策を確立

在波獨逸人續々避難

一、八月廿四日撮影
「ロンドン」の紐音
間電送、軽音、シ

ガラン國軍總監、レズニ外務省務總長、タロンドル首相及び外交部長の受任を要求する問題の討論した。晝夜の會議内容については何等發表されてゐないが、近く左の一、對獨關係は、露戰争の勝利を目指しての努力を傾注し、對ソ政策を再検討するに期待してゐる。

新波蘭國を設置

[illegible][illegible]

獨、ソ聯軍事使節團意見一致

科齒山片
前行洋林欽通樁本日
番三五五五③話電

註）米大使館が危機切迫す

□

その日

古川基雄氏 奉天へ
古井隆氏 關門へ
中安傳九氏 大連へ
渡邊信氏 安東へ
石見元秀氏 海倫へ
北條愷吉氏 哈市へ
永田貞二氏 大連へ
廣瀬秀吉氏 同
宇藤谷教博氏 同
武内武雄氏 同

横地秀雄氏 醫師 十五日
 來京ヤマトホト
 湖越三郎氏 (會社員) 同
 山崎久一氏 (會社員) 同
 杉本大輔氏 (會社員) 同
 芝野初修氏 (同) 同
 岩井元一 (郎氏) (同) 同
 中村三郎氏 (商妻) 同
 石村三郎氏 (同) 同
 家金四郎氏 (同) 同
 町田純作氏 (會社員) 同
 佐藤重雄氏 (會社員) 同
 大谷利三郎氏 (滿洲) 同
 森田二郎氏 (商妻) 同
 酒田厚氏 (會社員) 同
 宮下貞氏 (會社員) 同
 水島良次氏 (車道通) 同

出 發

杉本良氏 十五日(來)へ
島居次夫氏 大途へ

宇都宮武彦郎氏 (ツウ石)
長岡市氏 同 浦安ボアル
衣笠次夫氏 同
小柳正雄氏 (昭和鐵道所)
黒川三雄氏 (昭和鐵道所)
中村三雄氏 (昭和鐵道所) 同
川崎重吉氏 會社員 同
若原三郎氏 同
河野清三氏 同
西川六兵衛氏 (太陽堂) 同
西山茂氏 (滿洲工業) 大橋
八木田良平氏 (日清商事)

田中孝藏氏 (會社員) 同
若谷正太郎氏 (材木館) 同
湯口起一郎氏 (材木館) 同

聯船員録は絶海、その前に
現在に在るもの船力の検
査は必要なか



ギターの研究募集

誰でも興味を持つて短時日内で弾ける様に
分り易く教授致します。今まで教則本だけで
いかれてゐる方は早く入會して下さい

第一期生 毎週五回(五週間)
第二期生 毎週六回(六週間)

會費 第一期生七圓 第二期生九圓
教授時間(晝間部)午後二時より三時迄
(夜間部)午後七時より九時迄
都合により出張教授も致します
ギターの御持合のない方は便宜
を計つてあげます

受付 新京大丸樂器店
電話②二〇四番



絶対他店の追 従を許さぬ大 特賣!!

品薄にならぬ内お早く御
求め下さい

和洋樂器の修理は
最も迅速丁寧に

良境
大丸
手風琴
アコルデオン



新京大丸樂器店

本店 新京曙町二丁目三一
電②二一〇四
支店 佳木斯安民街
電二八三一



社説

歐洲情勢

歐洲情勢は、最近ますます緊張を來してゐる。ドイツの侵襲は、ますます激しくなつて來た。フランス、オランダ、ベルギーの抵抗は、ますます弱くなつて來た。ドイツの侵襲は、ますます激しくなつて來た。フランス、オランダ、ベルギーの抵抗は、ますます弱くなつて來た。ドイツの侵襲は、ますます激しくなつて來た。フランス、オランダ、ベルギーの抵抗は、ますます弱くなつて來た。

弗資金設定に關し
日本政府と交渉

青木金融司長打合せに東上

原棉不足對策に
當局配給機構再強化に乗り出す

必要とされてゐる
折衝を開始する

牛結核検査
進展に相應しい

滿洲、北中支蒙疆間に
物資交流委員會設置

ゲ・ベ・ウ凝視する
國境を征く赤十字

参加準備取止め
日本協理會決定

積荷戰時保險料
一部引下げ

教育司最初の留
學教師近々渡日

運動
高島市立運動場

世界一の
快速貨物船

乾電池の
新製品

弗資金設定に關し 日本政府と交渉 青木金融司長打合せに東上 原棉不足對策に 當局配給機構再強化に乗り出す 必要とされてゐる 折衝を開始する 牛結核検査 進展に相應しい 滿洲、北中支蒙疆間に 物資交流委員會設置 物資交流の圓滑化を圖る ゲ・ベ・ウ凝視する 國境を征く赤十字 参加準備取止め 日本協理會決定 積荷戰時保險料 一部引下げ 教育司最初の留 學教師近々渡日 運動 高島市立運動場 世界一の 快速貨物船 乾電池の 新製品

弗資金設定に關し 日本政府と交渉 青木金融司長打合せに東上 原棉不足對策に 當局配給機構再強化に乗り出す 必要とされてゐる 折衝を開始する 牛結核検査 進展に相應しい 滿洲、北中支蒙疆間に 物資交流委員會設置 物資交流の圓滑化を圖る ゲ・ベ・ウ凝視する 國境を征く赤十字 参加準備取止め 日本協理會決定 積荷戰時保險料 一部引下げ 教育司最初の留 學教師近々渡日 運動 高島市立運動場 世界一の 快速貨物船 乾電池の 新製品

弗資金設定に關し 日本政府と交渉 青木金融司長打合せに東上 原棉不足對策に 當局配給機構再強化に乗り出す 必要とされてゐる 折衝を開始する 牛結核検査 進展に相應しい 滿洲、北中支蒙疆間に 物資交流委員會設置 物資交流の圓滑化を圖る ゲ・ベ・ウ凝視する 國境を征く赤十字 参加準備取止め 日本協理會決定 積荷戰時保險料 一部引下げ 教育司最初の留 學教師近々渡日 運動 高島市立運動場 世界一の 快速貨物船 乾電池の 新製品

開店 御挨拶 初秋の候各位様へ御清静の段々率り ます扱て永らく店內工事中の處此程段々 致し設備陣容を整へまして當十七日 御客様の御氣分を尊重、座敷スタンド其 他に聊か會心の趣向を加へました料理は 純潔として材料を特に撰定積年の經驗 を基礎に自自身庖丁を振ひ美味求食道 の本義に添つて御客様の眞の御満足を得 たひと存じます 何卒御愛顧御引立の程を偏に御願ひ申上 ます 各位様 主人敬白

光樂 祝町青陽ビル角 電話三三三三番

協和精神とは何か
(十二)

全聯提出議案

協和服在庫品は

廿日迄に申告せよ

◆ 愈よ安くなる協和服

愛路宣傳工作に

巡回映畫班派遣

鐵道警護隊の企て大歓迎

新設放送監査院では、日鐵道
愛媛線に携る日南電報、愛
路局より、その他各電報局、
の電報を兼て「電報」を略
傳をなし併せて電路工事の進
展を窺ふ目的の下に同管下
各電路を所屬の地に選映し
概々概して「電路概況」を
會を開催中であるが、沿線
の地を居住する一般民衆
より多々の歡迎と期待をけ
られ好評を得てゐるが、上
映、漫、ニュース（今）

請看領

[illegible]

PHOTO STUDIO
眞實級高
新宗吉堅助
館眞實乾
五〇三〇零

二、機械共同営農場 三六〇戸 一區
トラクタを用いて機械的農業を行ふのであらが北海道よりこの種經營に経験する農業家一二戸を入植して共同經營を行ふ
三、畜力共同經營農場 八〇〇戸 一區
畜力を用いて機械的農業を行ふのであらが北海道の農業家四戸を入植して共同經營を行ふ

小兒科
 (入院隨意・診應篤)
長春醫院
 院長 德丸又力
 無二番以
 電(3) 六二四一番
 新京神社ノスグ前

心地よく
笑ふ上利
に金融致
ます

電話特融
(大口優待)

志ちや

電話③五七八
イヒチヤ

延寶地蔵相目丁二所隣

屋京東



勝田印刷紙器
奉天支工廠

電話②二五九六番
本店 大阪

各種印刷と折疊紙函製造
茶ボール 各オンス在庫豊富
奉天市大和區浪速通三十二番地

ステツキ
 専用 **パイプ** 製造卸
 現代的趣味に適合し
 賣行を極めて良好
 店章 柿野中込屋 則生 練無代 送呈
 大阪市東區北久太郎町四番橋筋
 御留量 井村友三郎商店
 電話 松梅四〇二番
 郵便 大阪二二八九番

志らが
赤毛漆
見る羽
見違へる
自然の黒髪に！
どうせ染めるなら、染め
たのが他より氣づかれぬ
様な自然毛に染まる。安
心して染められる染毛粧

どんぐり模様の完全品で、
 堅く、丈夫で、完全品に
 違ひなく自家製品に付大々賞！
 トランク病院
 二合 永乾店
 新東京一徳通三六
 電話五三三〇八番

は、**花魁**（けい）と云ふ。それです。
 は、**花魁**（けい）と云ふ。それです。

他品より比較して、これほど解ることです。其れが、**花魁**（けい）の體裁。其れが、**花魁**（けい）の見事。洗つてもハダツキ永くもち、経や衤をよき品等の特色あるり例で、

(公國樂府ニアリ)

熱と力の文藝云浪曲の夕

巨匠酒井雲師の至宝

酒井雪若
末演

分四時二・時 一
分十時三・分七時二
分十四時三・分七卅時
(り終時五)

興業部

午後六時開演
入場料 一圓五十錢
會場 朝日座

學子
執云
主月

日
出
(三)

曹禹作
大內隆雄譯

瀧 (類と云ふべきを閉ぢ)
 ほんに云といふとなつてまふ
 何だ彼だうなるさう言つて
 私木で……(木で打つて掛
 かり上る)
 (右の方の寢室で小さな大
 がツツツと唄える、小娘の
 驚きと驚かぬ混る)
 瀧 おや、あれは何だね？
 (白濁した聲で)
 (「おこ小娘が寢室から
 手を抱へ、鞋を手に持つて
 駆け出てゐる。小娘が後
 から後へ掛つて来る。彼女
 は慌てゐる。小女は戸の
 向ひで唄えてゐる。小
 小娘 (囁いでゐる、狼狽し
 切つてゐる。倒れ込みばかり
 である。お嬢様——お嬢
 様！)
 瀧 どうしたの？
 小娘 あれが後から追ひ掛
 けて来るのよ——誤つてた
 ん。(色笑ひ) え、誰？誰
 が？
 (話したのが、君は女の子を
 養子にしたんだらだね。
 需 養子に？
 方 方！
 瀧 (判り、あら(小娘を指
 し)此處に居るわ！御覽な
 さい。どきどきこれが私の養
 女なのよ。
 方 (興味あげに)は、あ
 こ小娘だつたか？
 瀧 (服を被つたのを、の
 け立上る、赤や緑の模様
 のあるマッパを身纏ひつ
 ぱいに穿てる)おい
 おい、白鷺、君連そんな
 に話したんぢやないで、この方
 だ。
 瀧 (びつくりした風をして、
 あんな御存じなかつたの、
 私紹介してあげたわ、私の
 従兄よ。
 方 (びつくりして)従兄？
 (今やともし一人男が室
 内にゐたことを知り)何、
 方均、又この部屋にはこん
 したのである。はじめ先づ
 第一番だけを譯して、一段落
 する積りで譯して、たが、友
 友諸君はしきりに翻譯をし
 るすゝめてくれるで私も思
 ひ切つて全譯を目前で完成
 することにした。けふは九月
 一日である、私の四日から暫
 く短い旅へ出るとなつて
 ゐる。その旅に執るの積り
 を持つて行つて翻譯を執る積り
 である。旅の無聊——よし無
 聊ありとすれば、結構満
 ちされるであらう。満洲に於
 ける戯曲の貧困は著しい。
 これは滿洲產の戯曲である。
 これは滿洲に持ち込んで充
 分發に立つと思ふ。またこれ
 が何らかの刺激で、吾國の戯
 曲創作のたに興へ得るのだ
 ば幸ひである。何れはや
 びあるにまともを得る機会も
 滅びは一本かも知れぬが。ど
 うか心ある方はペンクラブで
 も作つて置かれることを希望
 しておく。

随筆)
ゆれながらの記

(つとめ流しき) まあこの千ては！ 私にはまああの通中が部でやつて来たのかと思つたな。

満ちゝ事だな。

(外で扉を開く音がする)

小娘、お嬢様、誰か戸をたたいてるわね。

満ち 又あの通中が来たんだやないかな。

(其の前に行き) 誰？

方 (方連が戸を開けて入つて来る。)

方 (康吉を驚、ヌリヲバを笑附ける。) 僕だよ。

満ち (ひくりして) どうして来たんだ？

方 此處は離分と斷かしい、眼が眩しい、さつと顔升

内氣で、すぐ女が母になる。しかしまだあるさ、さういふ間か一人の女を知り結婚したのだが少しの間苦があつたやつてやむを得ず、その後に別れたが妻に死なれる。歸郷して以前に女の會へ懇話をきかしかるさうな話なのだが仲々の逢着である。しかしこの逢着はどうも發見が無さうと思へんであらう。これではどうも、發見が無さうと思へんであらう。逢着さにかれてはいるが、婦材へのぶつかつ方、いゝ通中の逢び方そのものが、どうもはまらないのである。(調度箱二)

小さな静の屋根が見えて來たかと思つた。又気がく過ぎた。五羽の鳥がペターと飛び立つた。きつと木の無気味な聲で位いてる。遠くにも白黒な雲、ちつとも美しくない、誰にも好かれなくて、でも歌つて聞いてそで生きている。あゝ公主殿の隣の草の中で鳴いてゐた名に知らぬ出づつて、又其の聲達つてやつてより生きてゐんだ、あたし達よりもつと強く、正直にもかも知れない。

眼が股れた中で私は意外をつまつける事をよめた。青年は眼を閉ぢたるが眠つてはゐないらかつた。私が手洗

達者さ(一)題
吉井一男「背徳」
【『新天地』九月號】

に立つて戻つて来る。彼はもう窓の外をみてゐた、やつぱり煙草を吸つてゐた。斜向ひの女達も最初は二等客を嫌にならずに居をしてゐたけれど、馴れて來たのが大層車を上から下りながらの座席の男達とベチャーノ喋るのを聞き取つた。そんな自分の氣持が寂しくなつた。

汽車が徐行して來たので外景の中に黄昏が濃くなつた夕暮の中、四角形になり腰がみえる。大分客が降りたらしい譯がある。客がさうされてゐた。乗る人も又多かり、私は私の隣りの老いたる貴夫が坐れば良いい、又青年の人は、中年の朝からか女の人が坐れば良いいと思つてゐた。

今四半面に賣れた。ここは何故か親しむを感じない所、傾はし、親戚がるのでも其の爲かも知れない。幾人もの乗らなかつた。又、乗つて來た浦人達は、「さかい空いた座席を横眼でみなかゝり通りすぎる」といつた、何故かは知らない。

又青年は顔を出した。私はふと青年の顔の背後に眼をとめた。高麗のマーチを感じてゐた。高麗のマーチがついて今度は私が口語しかけてみた。

「貴方は何を被装想像つく？」其の時の彼が表情變つた。それは解に助かつた、てな

ひのしずか

山脈
西谷正夫

儼然と温湯の汽煙に伸びる
 ひねれた圓理の脱ぎ着き
 重なる重なるを拭く花東の露
 に滴へる。
 花東は朽炭する抵抗を奏つた
 たる空洞の燃然たる
 國庫は懐心に準んでみき
 した蒼蒼の下に充ちたる
 蘭の貝を拾ふ。
 繁葉は生存の密着に
 れれど大都會の懷に似て
 け、掌の中に山の陰影が
 と一條の怖れに胸を刺す
 たる忘却の流し
 來た初戀にて流されし短れ
 焦爛の哀刺ね。
 花火木蓋
 花の熄えぬ炎よ
 青潮、遠く
 背が胸、潤す、大面よ
 朱朱の、遷移を欺けし
 憂鬱無垢の、生ける瑞雲よ
 是を、圓らふならねば
 日を絶し、光れぬ
 星羅けしし瑞雲の夜天の視察
 に露に
 我、真しまず
 大失はす
 花草摘みて、蘇の集思、深く
 も胸に吸へば
 露れどよめく、蜜雲の
 沈む日の終焉、線に似たり

祝町三丁目三
羽牟眼科

いふ私は誰だに類にもさへる
少くとも南洋國內に於て、
して滿洲國と共に建政の
業になつたといふ人達な。
無理といふ言句を好きになつ
て貰はなくてはならぬから關来
中を買ひたい」と思ふ。

さうして大葉が建國以爲や
つて来た大出でたとのさばつ
てる連中の口から聞いた日け
私はいよいよ嫌な氣がしたの

「大なりとつゝ、氣に入らない
事には私も無情無義な者
を少しも聽いてゐない」

「お、果して日本の物價
も、アメリカになつてしま
ふ」と云ふ彼は、すでも
舊曆には三月くらいで、ま
だ兄ちゃんから来たばかりで、
淡々としたつた。

「去年が、私ははたまたら
んかッケースリフに持たな
さうして春の旅が出

森洋行
中區三三七八



たう。

薩州に来て終戦前になつた、とか自己いふものゝ失ふとか、ふとそんな事をさくけど、愚の骨頂だ。

何々親善とか何の使節とか口先ばかりのものであつてはしくないと、と思ふ。書道だけのものであつてはしくない。さうした表面だけ、物に

書日加

るけれど、とにかく嫌です
が先に共済社に勤めてゐ
て、やはり社員連中の中から
だん意味の悪口を聴いたの
であつて。悪口でてもそれは
受けないけど、でもそれには
三等車より一等的な、臭く
つてゐるといふ。

新共済社調査資料分帳目録
第一冊（補遺・調査部）

五月 希望の新
刊物不記
編纂局知
一部謝詞
計用紙
（一）格

五月 希望の新
刊物不記
編纂局知
一部謝詞
計用紙
（一）格



東京・神田・池袋・有明各店

プルヘ

薬良ルタカ胃腸

下痢 腹痛

効 0.50
0.80
1.00
2.00
3.00

紫雲社

看 板

支店 大塚 池袋 有明

電話 三六二一(2)

上海保險 運送保險

火災保險 財產保險

朝鮮火災保險

支店 大塚 池袋 有明

電話 三六二一(2)

秋の讀書のジーン

緊縮經濟讀書の秘法

新社 雜誌 週巡 京新

(東京事務所) 二一 胡華中街 上野 京新

電話 二四六四(2)

散効固

頭痛 齒痛

効 0.50
0.80
1.00
2.00

[illegible]

食慾増進

飯が美味くない方
仕事に振舞ない方
直ぐに腹を壊す方
消化不良・胃腸病
脚氣・貧血・結核

服みよい錠劑
一五〇錠 一六〇
三〇〇錠 一六〇

康生錠

青い顔をしてゐた

僕がこの通り元気なつと活動出来るやうになつたのも、新發明の康生錠を愛用したお蔭だ此頃では何を食へても美味しく、ドシ／＼身に付いて血色はよくなる。體重は増える、夜はよく眠るので一日中氣分が清々しい君も随分やせてゐるが早速服んだらどうかね」とA君の流

康生錠 最新改良品 各地有名藥店均有に發售

天本市茂町五十番 株式會社 藤澤友吉藥房 大津・上原

治淋療法の大完成!

短期内服特效薬出現! 完治者続出

治淋特效成分G-U-サイドはあらゆる在來療法を根底から覆し、今日迄數十萬の全治者を出して現代醫學史上に燦然たる光を放つようになった。本剤の作用は從來の姑息治淋劑とは根本的に異り體內に入るや直ちに殺菌溶菌、喰菌の三大作用を發揮する爲め、はやいのは二三日の服用で止膿、止痛、淋糸消滅の頓挫的效果が現はれて今迄の淋薬には経験されない不可知の特效作用を呈する。

G-U-サイドは亦外地傳染の頑症並に女子淋疾に對しても同様なる効果を發揮すること勿論である。婦人科疾患の大部分が淋菌に歸因することは臨床統計の示す所でこれは山々しき問題である。國民の體位向上種族保存の爲めに敢へてG-U-サイドをお奨めする次第である。

(全國有名藥房販賣)

治淋特效成分発見

G-U-サイド

チ

ユ

株式會社

柳 韓 洋 行

大連・米國總府・臺北・東京

92-94



眼科専門
河本大次郎氏
小玉龍藏氏
吉田義治氏
山中崔之氏
豊田正達氏

●大學眼薬は、最近の眼科
醫學の要求する三要素を
具備した最も効果優れた
眼薬であります
即ち、一劑にて
第一、眼病を治し
第二、目を美しくし
第三、紫外線の害を防
三作用を立派に果たす
●紅塵万丈、特に目を傷め
易き大陸の御世活者の目
の保護に大學眼薬こそ最
も信頼すべきものであり
ます

大學眼薬に
代用薬ナシ



眼病の 快速療法

眼病を早く治さうと思へば
第一に 早く治療すること
第二に 治療を怠らぬこと
第三に 目を休めること
第四に 刺激食物を避けること
であります

誰でも初めはよく手當をするが、暫くすると段々なまけ勝ちになります。結膜炎(はり目)などは軽いうちにスグ治療すると早く治ることが多いが手當を遅らすと慢性になったり、トラホームは中途で治療を止めると再び悪化した。たゞれ目は治つたと思つても再發し易いから、すべて早く且十分な治療が大切であります

強化と 美眼法

元來、目は常に外界の刺激を受けて傷み易いものです。又、睡眠中は繁殖菌が目に侵入し、翌朝は目が紅腫した状態になります。これを防ぐには、毎朝の目薬を点眼することが大切です。

近視眼の 防止法

不潔です。それで齒を磨くやうに、目も毎朝大學眼薬を点眼することの効果は非常に大きく、特に自性の弱い人や目を使ふ人の有効な強眼法です。御婦人の美眼法としても毎朝點眼は一掃有効で清く澄んだ美しい目になります。

近視眼は恐るべき近代文化病で、特に男女とも、實に學生の過半数を占め、年々増加します。普通十一、二才より始まり、特に中等校への受験勉強期に起る者が少なくない故注意を要します。近視防止の方法としては
第一 勉強の姿勢を正しく(肩の隅を)
第二 明るい室内で(窓のそばは可なり)
第三 遠視をよくする
第四 目を休め、目を日常強化する方法をとる(毎朝點眼など)

症 状	定 價
結膜炎 光線眼炎	小瓶 二十圓
角膜炎 トラホーム	中瓶 三十圓
麦粒腫 やに目	大瓶 五十圓
はし目 ばち目	小瓶 十圓
凝り目 はやり目	中瓶 二十圓
疲れ目 なみだ目	大瓶 三十圓
血目 たれ目	小瓶 十圓
目 かすみ目	大瓶 三十圓

器容整線
ぬれほこにタムも満一
めせさつづ



秋！讀書のシーズン

非常時向緊縮經濟讀書の秘法！

本會規定

- 一、會費 一ヶ月 金一圓二十錢
- 一、雜誌 一ヶ月 七冊
- 一、御入會は何時でも出來ます
- 一、第一回の配本より七冊を以て一ヶ月とす
- 一、雜誌交換は四日毎に致します

配本確實。消毒完全

新京新立街中華胡同一二號 (圖書館裏)

新滿商事文庫部

電話 ②四六四二番
振替口座 新京二八〇一
私書函 新京中央郵政局一〇九號

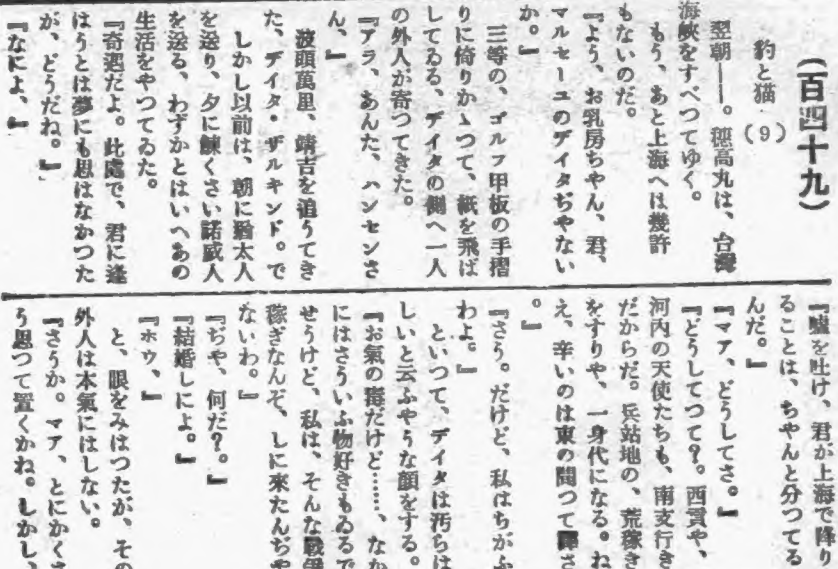
各 國 雙 眼 鏡
多 數 品 揃

清 眼 堂

新 京 吉 野 町 二 丁 口
電 話 ③ 二 三 九 番

小栗虫太郎 作
中島喜美 畫

...



トラツク の御用
平野工務所
設 明治五丁目
電 三五四五
機械荷物土雜材料運搬

失竊路頭に迷ふ者 共に本會
人々求めたき者
新東京三馬路
第貳一〇八五
自彊會
自費者 結婚媒介部
F 〇 〇 御申込下さい

トラツク に使
運搬
大和運輸公司
電 六九〇八
引續及建築士利
農作物輸送の準備有

「や、は、千客萬來な。流芳の要をやるんでは、い加減くたびれるだろ。」

「止しと。」もう、私、北鶴ぢやないんですから。」

「デイトはほんとになつて、手摺りかたが編みとりと腰を落した。」

粗い、日濯けの日ともれる水粒のやうな顔に、デイトは陰影を振りとりられ、輝くやうだ。

海賊の背、むかるる海賊が泡の脚をすめ、水は、ニスをなすがしやうな艶々とした嫩玉色だ。

「さうか。だが、かゝ見たところ、脂肪も堆えちやふもないし、まんざら、商賣の方へ素断としてよのぢやあるまねわ。」

「止してよ。私、かり見ても、堅氣なんだから。」

「へ、へ、そりや良かつたデイトの、堅氣とはいひな。」

その母は、デイトの言葉を本氣にせず、ナイとは執拗に寄り添つてく。

「つ、何處へ行くね。」

「横濱。」

デイトは、うるさううき上り

上海開城、第二一―。

た。

このころから、チアホも本海軍の艦影が見え出し

上海の停泊は頼むじやない。そのせいで、チアホも

險を感じてゐる。

無電は、艀々位置を要する合ひ、絕對安全區域にあらずので、葉間は、よしと突變があつても、さのみみ

には思はれぬ。

堀山医院
町一丁目
産婦人科
彦承

ゆづりの、支那軍車の上汽船廠、それから今日上海開港場まで、むしろ上海の不思議なくくらだ。

「アア、韓吉が……」

そして、デイトは韓吉の愛を、海風に漂は

電話 3180

吉光

はせ

き日

危

た

んば

の事



新永吉野町一丁目

みどり茶

電話 3187

お茶と

お茶道具は

	<p>タイプ印書</p> <p>翻譯・立案 磨寫・代書</p> <p>前町二丁目 新満社</p> <p>電話二三八七</p>	<p>日本建築家</p> <p>三三三三三三目 五五五五八八</p> 
---	--	--

室田公学校前
鵜殿元弟商會
電話(二四八二)
かんばん
玉江
電話(二八八)
新東京支店前
三笠町三〇廿七
公會堂裏
電話(五五三三)

<p>末松接骨院 電話二四〇三番</p>	<p>愛化堂 （最近を問はず） （御伺の願はす） 電話二二三九 第一條通三九</p>	<p>家は 傳 お灸 ▲痔瘻 ▲助 痰 ▲婦人病 ▲カリニス ▲胃腸病 ▲ロイマチ ▲淋病 ▲痔 小 便 ▲中風 ▲脚 氣 ▲あんま特設 中央通 大坂船場前 清水堂鍼灸院 電話三六七七番</p>
--------------------------	--	--

<p>○の御用は</p> <p>質</p> <p>タニヤ街 (丸の内前)</p> <p>秋本質店</p> <p>目下、入船 目下、入船 目下、入船</p>	<p>招省タイピスト養成 授業</p> <p>午前午後、兼修 入学随時 規則書進呈 募集要路(一五號) 常駐タイプライター 蒲田直賣所</p> <p>電話 四四三三 四四三三</p>	<p>斯辰の權</p> <p>東</p> <p>日本タイプ</p> <p>新報日通</p>
--	---	--

強 出 貸
売 安 品 流
七福屋
 質 買 は
 入 申 甲 一 目 (昌業ビル内)
 電話 ③ 五 五 四 九 番

新古今堂
 夏物大見切
 トロイ 質店
 豊三丁目五
 番三二七七番
 東京光線
 新嘉院
 神氣助延
 婦人病
 電氣治療
 湯疾

新泉タイヤ街

温泉閣

電話 六五八八五

月賦販賣

電話及金融

金融即時・長期秘密
電話の御相談は最も信用ある

(御用の方は
六六六七)

荻本電話店

新京入船町一ノ二(イイヤ街丸石商店前)

高價買入

電話金融

岩

電話賣買

見電話店

永樂町三ノノノ西
入島小學校前
電話33137番



藝之家

日林 從

藝子所
電話三五七

電話三五七

教員直航
 ●北日本汽船
 船名 船期
 新瀉丸 六月六日 日曜 出帆
 新瀉丸 六月九日 日曜 出帆
 新瀉丸 六月十二日 日曜 出帆
 新瀉丸 六月十五日 日曜 出帆
 新瀉丸 六月十八日 日曜 出帆
 新瀉丸 六月廿一日 日曜 出帆
 新瀉丸 六月廿四日 日曜 出帆
 新瀉丸 六月廿七日 日曜 出帆
 新瀉丸 六月三十日 日曜 出帆
 新瀉丸 七月三日 日曜 出帆
 新瀉丸 七月六日 日曜 出帆
 新瀉丸 七月九日 日曜 出帆
 新瀉丸 七月十二日 日曜 出帆
 新瀉丸 七月十五日 日曜 出帆
 新瀉丸 七月十八日 日曜 出帆
 新瀉丸 七月廿一日 日曜 出帆
 新瀉丸 七月廿四日 日曜 出帆
 新瀉丸 七月廿七日 日曜 出帆
 新瀉丸 七月三十日 日曜 出帆
 新瀉丸 八月三日 日曜 出帆
 新瀉丸 八月六日 日曜 出帆
 新瀉丸 八月九日 日曜 出帆
 新瀉丸 八月十二日 日曜 出帆
 新瀉丸 八月十五日 日曜 出帆
 新瀉丸 八月十八日 日曜 出帆
 新瀉丸 八月廿一日 日曜 出帆
 新瀉丸 八月廿四日 日曜 出帆
 新瀉丸 八月廿七日 日曜 出帆
 新瀉丸 八月三十日 日曜 出帆
 新瀉丸 九月三日 日曜 出帆
 新瀉丸 九月六日 日曜 出帆
 新瀉丸 九月九日 日曜 出帆
 新瀉丸 九月十二日 日曜 出帆
 新瀉丸 九月十五日 日曜 出帆
 新瀉丸 九月十八日 日曜 出帆
 新瀉丸 九月廿一日 日曜 出帆
 新瀉丸 九月廿四日 日曜 出帆
 新瀉丸 九月廿七日 日曜 出帆
 新瀉丸 九月三十日 日曜 出帆
 新瀉丸 十月三日 日曜 出帆
 新瀉丸 十月六日 日曜 出帆
 新瀉丸 十月九日 日曜 出帆
 新瀉丸 十月十二日 日曜 出帆
 新瀉丸 十月十五日 日曜 出帆
 新瀉丸 十月十八日 日曜 出帆
 新瀉丸 十月廿一日 日曜 出帆
 新瀉丸 十月廿四日 日曜 出帆
 新瀉丸 十月廿七日 日曜 出帆
 新瀉丸 十月三十日 日曜 出帆
 新瀉丸 十一月三日 日曜 出帆
 新瀉丸 十一月六日 日曜 出帆
 新瀉丸 十一月九日 日曜 出帆
 新瀉丸 十一月十二日 日曜 出帆
 新瀉丸 十一月十五日 日曜 出帆
 新瀉丸 十一月十八日 日曜 出帆
 新瀉丸 十一月廿一日 日曜 出帆
 新瀉丸 十一月廿四日 日曜 出帆
 新瀉丸 十一月廿七日 日曜 出帆
 新瀉丸 十一月三十日 日曜 出帆
 新瀉丸 十二月三日 日曜 出帆
 新瀉丸 十二月六日 日曜 出帆
 新瀉丸 十二月九日 日曜 出帆
 新瀉丸 十二月十二日 日曜 出帆
 新瀉丸 十二月十五日 日曜 出帆
 新瀉丸 十二月十八日 日曜 出帆
 新瀉丸 十二月廿一日 日曜 出帆
 新瀉丸 十二月廿四日 日曜 出帆
 新瀉丸 十二月廿七日 日曜 出帆
 新瀉丸 十二月三十日 日曜 出帆

[illegible]

質屋知

大交賣

質流水品

五九三〇電 聯社

質屋知

大交賣

質流水品

五九三〇電 聯社

味覺で立つ 青葉

唸を生じて大評判
 ◇緑がば焼き井◇
 三笠町一丁目

食道樂 青葉

電話 二九四三番
 五一六〇番

内科性病科産婦人科

事変公債

高價買入

商品券
の賣買

裕民
移票
販売

泰

電
精入

新
京
祝
(南産)

楊枝所
電三
七九

人気の…焦点


祝町三丁目
廣揚興銀樓
正躰
話③二六四番
六も致しませ
御利用下さい
院

町
三
地
註
一
二
三
四
五
六

務所

久雄
兵衛

昌亮



トース

下痢速効
悪病流行
腹工合惡き時はスダ
胃が痛い時或は食後各痛るう

A 1400

劣らず
仲々旨し



「陽」画 京 陽 院書式体 前本葉の写

あぢ
味の素
もろと
（登録商標）

煮干とな
つて一役
御奉公、
味の素の
助けを
借りると
上等な
ダシに